



11月号

麻布幼稚園だより

港区立麻布幼稚園
園長 佐藤 幸子

行事を経験して一回り大きくなった子どもたち

園長 佐藤 幸子

親子スポーツデーは、マナーを守ってご参観いただきまして、心より感謝申し上げます。

今年は、3学年一緒に開催でした。子どもたちは、他の組の踊りや競技の様子を見て、応援したり、真似て踊ったりしていました。スポーツデーが終わると、すみれ組がうめ組の法被やばちを借りて、早速、踊りを教えてもらっていました。それを見てみかん組も加わりました。うめ組は、小さい組の子どもたちに法被を着せたり、はちまきを巻いたりして関わり、踊りを教えていました。自分たちが頑張ってきたものを伝えることは、喜びであり、自信につながります。何度も繰り返し踊っているうちに「海賊の踊りもしたい」「動物の踊りも踊ろう」と、一緒に踊る姿がしばらく続きました。その後、異年齢の関わりが増えて、すみれ組がうめ組のお祭りに遊びに行ったり、みかん組がすみれ組の映画や踊りのステージを見せてもらったりして遊びました。このような関わりを通して、すみれ組は、年長組への憧れの気持ちと、見せる喜びを感じていました。みかん組は、他の組に刺激を受けて、興味・関心が広がりました。

みかん組は、先日、園庭の滑り台を初めて使う機会をもちました。まず、みんなで安全に楽しく遊ぶための滑り台の約束を聞き、順番に滑ります。幼稚園の滑り台は、大きくてスピードが出るので、勢い余って最後に尻もちをつく子もいました。何度も遊んでいるうちに少しずつスピードを緩めて着地できるようになっていきました。子どもたちは、繰り返し遊ぶ中で、先生や友達の様子を見て、いろいろな感覚を働かせ体を通して学んでいます。

先生たちも、それぞれ、子どもたちの成長を感じています。教職員一同この成長を生かしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

大規模改修工事も11月の4日で終わります。登園の仕方も以前のようにオレンジロードで挨拶をして、子どもがそれぞれの学級へ行きます。

子どもたちは、別れるときに保護者の方を求めることもあるかと思います。しかし、挨拶をしながら様子を見てみると、保護者の方が見えなくなると、気持ちを切り替えて自分の遊びや生活に向かっていく様子が見られます。子どもたちが朝のスタートを気持ちよく切れるように一回り大きくなった子どもたちを送り出し、速やかにお帰りいただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。また、子どもたちが自分のことは自分でできるように、身支度を整え(帽子、上着、名札など)リュックや荷物は自分で持って挨拶ができるようにしていきましょう。



初めての滑り台



一緒に踊ろう！



うめ組のお祭り